



議会だより

2005

No. 61

題字は日出中3年河野沙紀さんです

平成 17 年 8 月 15 日 (年 4 回発行)

発行：大分県日出町議会

電話 73 - 3135



親子で楽しい児童館事業 (保健福祉センター)

目次

● 常任委員会	2
● 特別委員会・行政視察	4
● 一般質問	5
● 臨時会・追跡調査	11
● 町民の声	12

常任委員会

総務

・町税条例の一部改正は、地方税法の改正に伴い、個人住民税で前年の合計所得金額が125万円を下回り、かつ年齢65歳以上の者にかかる非課税措置を平成18年度から段階的に廃止することなどの改正であり承認。

・町税特別措置条例の一部改正は、地方税の不均一課税に伴う減収補てん制度を適用している半島振興法に適用期限延長等の改正があり、町税の関係部分の適用期限を19年3月31日までに延長する改正であり承認。

・16年度一般会計補正予算は、税の確定に伴い、歳入歳出にそれぞれ512万2千円を追加するもので承認。

・日出町総合開発審議会条例の一部改正は、課の統廃合に伴い、条例の整備をするもので可決。

以前計画した豊岡地区の開発計画書を参考にすることを要望した。

・17年度一般会計補正予算は、地域総合整備資金貸付金4300万円を追加し、予算の総額を75億5900万円とするもので可決。

利用計画のない町有地の積極的な処分に努め、収入確保を強く要望した。

・「定率減税の廃止・縮小を中止することを求める意見書」の採択に関する請願書と「日出陽谷高校跡地の一部借用について」の陳情は、資料不足のため、継続審査とした。



早く買って！町有地

産業経済

農振地域の見直し

・16年度一般会計補正予算は、県営丸田地区緊急畑地帯総合整備事業（10年～16年）を地方債10万円で補正するもので可決。

・17年度一般会計補正予算は、介護老人保健施設サンライズビュー（医療法人平成会）の増設事業28床を、町債4300万円で補正するもので可決。また昭和63年に策定した日出町農業振興地域整備計画の見直しを行い、協議に基づいた新たな土地利用計画図を作成するため、6月に検討委員会が設置された。2年以内の完了を目指すとの報告を受けた。



見直しが始まった土地利用計画

常任委員会

建設

北浜区に避難通路を

・16年度日出土地区画整理事業特別会計補正予算は、区画整理事業終了に伴い、精算徴収金の不足分を一般会計から繰り入れるものであり、全会一

致で可決。

・「日出港護岸敷き避難通路に関する陳情」は、北浜地区の避難通路設置と関係する土地買収をお願いするもので、台風災害や東南海・南海地震の危険性が叫ばれるなか、北浜地区は最も津波、高潮などの災害を被る地区である。緊急避難通路の必要性を十分認識できることから、賛成多数で採択。



心配される津波被害

・「赤松交差点改修工事の早期抜本的改良について」の陳情は、赤松地区の国道10号と県道藤原杵築線、そして、町道楠林道線からなる変則交差点の改修をお願いするもので、車両の交差点進入時の事故の危険性や、渋滞の原因を解消するためにも改良が必要であると認識し、全会一致で採択。

このほか各区と委託契約を結んだ、公園などの清掃における事故対策や使用料を含めた簡易水道事業について協議した。

社会厚生

ウエルサンピア
大分日出の存続を

・16年度日出町老人保健特別会計補正予算は、決算見込みに基づいて歳出予算を調整したもので承認。

・17年度日出町老人保健特別会計補正予算は、16年度分の老人医療費を精算した結果、歳入で、国・県支出金などの追加交付を計上し、歳出で、支払基金への償還金、一般会計繰入金を計上しており可決。

・ウエルサンピア大分日出存続に関する請願は、地域住民や利用者の健康増進の場として、あるいは交流の場や生涯教育の

場として、多くの方々に利用されている。また、地域観光事業の発展へも寄与し、経済効果も高いものと考え採択。

町長、教育長に、大神小学校改築事業の遅れに対し、生徒はもとより、PTA、地元の方々から、早期完成を強く要望されている事を説明し、早期着工を検討するよう要請した。



日出町にはなくてはならないウエルサンピア

特別委員会

高校跡地

スピードアップで

事業進捗を

今年度の事業であるグランド部を除く一部埋め

土にともなう水路改修は、現在のところ公共事業の排出土がないため、実施にいたっていない。また、入り口部の国道10号線交差点改良の測量、設計をしているが、図面ができ次第、早急に国土交通省



周辺整備事業も忘れずに（町道佐尾線）

と協議を行い、入り口付近の改良だけでも早期に行いたい。あわせて現状の第1種住居地域を商業地域に用途変更し、外部からのいろいろな要望にも対応できるようにしたいと報告があった。委員から埋め土にしても、道路設置にともなう土地買収にしても、現在のところ目的が立っていない。この事業は町にとっても、町民にとっても感心の高い最重要事業であり、住民に公表できるしつかりした計画で、事業の進捗を図るよう強く要望をした。

また、現在町有地内の水路改修を計画しているが、その上流域に雑排水が流れ込んで悪臭を放っている。側溝を早急に改修するか、町道佐尾線に下水道を整備してほしいという要望書が佐尾区から提出され協議、早急に対応策を検討することを確認した。

行政視察

産業経済

日時 7月6日～8日
目的 企業誘致の早急な取り組み。

研修先

・（財）ソフトピアジャパン
岐阜県大垣市にあるITの基礎研究から応用開発まで産学官一体で新たなビジネスモデル創造を目指すITタウンで、150企業、2100人以上の人が働いている。

・愛知県豊田市足助支所
地域担当職員制度について研修を行った。

15地域74集落で地域の将来を見据えた地域づくり計画が16年に完成。主な取り組みは、

①定住促進プロジェクト事業（一区画100坪）

②地域づくり計画に基づ



元足助町長（右から3番目）の町民主役の町づくりを拜聴

くシヤングリラ事業（山里の理想郷）

③三州足助公社の設立（観光足助のまちづくりをサポートするシンクタンク）

財源確保と官民あげでの協働の町づくりは地方分権への道すじを

開いていく、重要な政策課題ということが、現場へ赴き、さらになくなった。先進地への羨望の眼差しに終わることなく「大事を成すには小事の積み重ねを第一とする」を確認した。

一般質問

ここが知りたい

ペイオフ対策は万全か

兎洞 賢蔵 議員



問 金融機関の破たん時に預金などの払戻し保証額を、元本1000万円とその利子までとするペイオフが4月1日から全面解禁された。基本的にとのように対応していますか。

町長 会計課を中心にペイオフ対応研究会を設置し、各金融機関の経営状況などを検討した結果、取引金融機関については、特別問題ないと判断致しました。

問 取扱金融機関の自己資本率とリスク管理債権比率はどのようになっていますか。

町長 決算期の財務内容公開によると国内

標準の4%を上回る6%28%で推移されています。一時期、不良債権の処理に伴い、下降した金融機関も見られましたが、その後回復し、また体質強化も図られ、全体的に見て、安全性に問題はないと考えています。常に危機感を持ち、経営状況に注目し、預金管理に努めます。

町長 リスク管理債権比率については、4%台から35%台となっており、35%台の金融機関はやや高く、不安要因であります。引当金の積立や自己資本比率が、22%台である

ため安全性は、確保されていると判断していません。

問 取引銀行は何行ですか。

町長 8行です。

問 金融機関はいつ破たんするか分かりますか。最悪の場合の対応策を考えていますか。利息よりも安全を優先した決済用預金の活用は考えていますか。

町長 もし、破たんしたら、大変重要な問題です。預金と借入金との相殺協定ができていのかどうか、解決できるかと思えます。預金の中では、3カ月、6カ月とか、短期の資金が



素早い情報収集を！（会計課）

あります。これは応急に対応できる資金です。

ご指摘のような事態は考えられますので、決済用預金の口座は設けておいて、速やかに対応したいと考えます。

質問を終えて
安心、安全、健全な
財政運営を...

一般質問

ここが知りたい

教育立町へ向けて

熊谷 健作 議員



問 日出町では、今年度より、新たに小学校2校で30人学級が誕生しました。しかし、教員の加配がない学校があります。町で補充する考えはありますか。

教育長 教育委員会としては、日出町全体を見なければなりません。思われた学校、そうではない学校があつてはならないと思います。

問 今回の学校も同じようなバランスで教育がなされることが一番大切なことと思つています。

問 現場に行くと全然話が違ふ。財政の問題だと思ひますが、お金がないからといって、大切なことが反映されてないのではないですか。

町長 学校の中において、創意工夫と先生方の協力態勢をしっかりとつていただき、子どものために、つくしていただきたいです。

問 小学2年生まで30人

学級を可能にするため、「教育特区」の導入は考えられないですか。

教育長 特区という言葉が随分前から使われているということは、知つています。

問 他市町村に負けないよう人材育成をする「教育立町」という考え方を持っていたいただきたいが、どうですか。

町長 教育、文化・芸術の振興を含めて、重要な部分だと思つていきます。

十分教育・文化などの向上を念頭に置きながら、日出町としての教育行政を推進していきたいと思ひます。

ボランティアの組織化

問 ボランティア団体の



T.T(チームティーチング)で理解度アップ(日出小6年2組)

集約的機能を持った組織づくりを。
町長 共同のまちづくりを目指して現在協議を申し上げている段階です。

質問を終えて

行政と教育現場との距離を改めて実感しました。

要請に対して連携しながら、ネットワークがある組織化ということで、仮にボランティアサポートセンターの

一般質問

ここが知りたい

建設残土などの土砂の 埋め立て規制条例の強化を

佐藤 隆信 議員



問 先日、大神軒の井地区の埋め立て現場で土砂崩れが発生し、水田や水路に被害を与えました。崩落の可能性があり、また有害物質混入の恐れのある土砂の持込ができないよう、規制条例の強化を行うべきではないですか？

町長 今の条例はこういう事態に対して設置されています。条例の精神をしっかりと受け止め厳格に運営し、軒の井の事案を見ても事前事後審査を通し、行政がしっかりとチェックする体制が必要であると考えています。現時点においては現行条例を守



行政の役割は明確に（崩落した埋め立て現場）

りながら対応を考えていきます。当面条例改正は考えていません。

問 正は考えていません。条例の搬入土砂の規制を「近隣市町村または県内から出る浚渫土砂」および建設工により排出された土砂と改正したらどうですか？

生活環境課長 近隣市町村、また、県外の条例をみても、県外の土砂だけだめだという条例は設定されていません。より強い条例をつくるような審議の場を設けるように、県の環境保全課をお願いをしています。

町長 大神軒ノ井区の事故はどう解決していますか。今後土砂の持ち込みを許しますか。

了し、地元関係者に引き渡しを済ませ、早期米の収益補償も済んでいます。今後は雨季に備え、応急処理工事を並行して行い、現場復旧を行うことになっていきます。また、今後の土砂持込はありません。

質問を終えて
残土などの土砂の埋め立てについて、県などに対して、規制条例の強化を申し出るべきです。

一般質問

ここが知りたい

どうする子どもの体力低下

後藤 佑 議員



大丈夫か、日出町っ子の体力は（日出中の部活）

問 体格は良いが体力のない子どもが増えています。このまま推移すると、サラリーマンの定年も50才、40才と下がってくると言われて
います。

日出町の体力テスト

の結果は他町と比較してどうですか。また対策、達成目標は考えていますか。

町長 将来の日出町を担う子どもの体力づくりは、非常に重要な問題であり、十分考えてま

いりたいと思います。

教育長 中学校の体力テストを全国平均と比較すると、かなり改善されていますが、対策として、日ごろの体育の指導で年間継続的な基本運動（走る、飛ぶ、腕立て伏せ、腹筋）を取り入れて指導してきました。今後は現状を把握、また各学校の課題を明らかにして、取り組みを強化し、各学校に指導していきたいと思えます。

再度問う「地震対策」
について

問 昨年12月議会で東南海、南海地震について質問しました。防災マップは作成しましたか。災害時の派遣や受け入れについての対策は考えていますか。

町長 担当係を総務課に設けて、災害マップを全区長さんに配布しま

した。
自立防災組織率は40%程度になっています。年度内に100%にしていきたいです。

質問を終えて
青少年健全育成の原点です。体力がないと大学受験もできません。また、学校現場だけでは解決できません。町長の指導力に期待しています。



一般質問

ここが知りたい

問 給食センターは、人件費がかかり過ぎます。1日2700食で、年間約54万食作り、人件費が約1億円で、1食180円強です。役所が事業をするとコスト意識がありません。民間委託にするべきです。

町長 職員19名を配置していますので、難しい面があります。しかし、将来的に民間委託できるなどの問題については考えて行かなくてはならないと思います。

教育長 財政的な効率の面、安全性、食生活の育成、地産地消を含めて総合的に議論を進めていく必要があると考

えています。

問 会議によって、出席すれば費用弁償が支払われます。出席者に同意を求め、廃止したらどうですか。

町長 特別な理由はなく、この報酬の廃止を行うことは、制度上に問題があります。どの方々に対して支払う、しないかなど、大変重要な検討課題もあらうと思いますので、今後とも検討させていただきます。と思います。

問 ボランティア活動を推進していますが、城下かれい祭りでは、職員は代休をとるということで出勤扱いで

す。職員もボランティアでやるべきです。

町長 町主催のイベント、産業文化祭りなどは、関係部門に責任を持つて運用、運営し、責任統括者として出席させています。責任や権限があつて、配置されていますので、出勤扱いとしています。

問 生活環境課に埋土工事の許可の取り扱いがあります。都市建設課の方が適していると思います。適切な課に、適切な人員を配置し、職員を専門職化するよう改革していただきたいです。

町長 各課に十分な連携

給食センターを

民間委託に！

遠藤 建作 議員



がないところに問題がありました。大変大きな反省材料と受けとめ、今後の対応をします。職員の研修、技術開発を含め、職員が住民の方々へ奉仕、サービスができるよう今後とも取り組んでいきます。

質問を終えて
邪魔になるのは「古い殻」と「旧態依然の官僚主義」。発想の転換をして、改革を進めていただきたいと思います。



まずは安全第一（給食センター）

一般質問

ここが知りたい

おたっしや健診の導入を!!

佐藤 済江 議員



問 日出町は他市町村に先駆け介護予防事業の重要性に着眼し、担当課や専門ボランティア、地域の方々の努力により実施され、一定の効果を上げています。しかし、複合的なリスクを抱えている高齢者が多く、それらを早期発見して、適切な対策を個人に運用することが肝要です。老年症候群のリスク保有者をスクリーニングする「おたっしや健診」事業に取り組む必要があると考えますが？

町長 介護予防の見地からすると事前の対応が必要だと認識しています。居宅介護支援事業所などと連携しながら、個々に専門的に詰めていき、町の現状としてどういうことができるのか、今後十分検討、勉強させていただきま

問 薬物キヤラバンカーの導入を!

町長 薬物乱用防止教育事業は、マンネリ化が懸念され、近年覚せい剤を中心とした薬物事犯が増加し、深刻な情勢が続いています。薬物キヤラバンカーを利用し、小中学校、また地域で、乱用防止教室の実施が不可欠と考えますが？

教育長 中学校では3年に1回、全校生徒を対象に防止教育を行っています。キヤラバンカーの利用は、年間の教育課程の問題から学校と相談をし、今後考えなければなりません。また、日出中学校では本年度中に、県警のキヤラバンカーでの実施をすでに計画しています。

子育てネットワークの形成と促進

問 子育て支援にインターネットを導入、また子どもの安全確保をメール配信で対応できる方策は可能ですか？

町長 健康福祉センター内に児童館があります。保護者に対してパソコン講座を開催し、チャットでの交流などを通して親睦交流を一層進めていくなど、具体的に情報支援を取り組みを現在行っています。

教育長 現在一部の小学



高まってきた介護予防意識

質問を終えて
担当課の積極的な取り組みを願います。町民の意欲をそぐことのないように。

校で学校行事などの情報配信を行っています。が、アドレスなど個人情報保護、受信機器のない家庭と不公平感の問題があり、今後さらに検討しなければなりません。

日出町農業委員決まる

平成17年第1回臨時会が7月19日に開会され、議案2件・発議1件が上程された。

杵築速見環境浄化組合規約の変更および、杵築速見消防組合規約の変更は、杵築市、山香町および、大田村が平成17年10月1日をもって合併することになり、各組合を組織する地方公共団体の数などに変更が生じるとして、組合規約の変更を行うもので可決した。

また、町農業委員会委員の議会推薦は、今回から5名から2名に減員、次の方を推薦し全会一致で同意をした。



武村 今朝治 氏
昭和12年1月1日生
(日出東仁王)



岡山 直 氏
昭和19年6月10日生
(川崎成行)



追跡調査

一年前言った事、今どうなっちょるかえ!



平成16年
6月定例会

後藤 佑 議員

問 万里図書館で、静かに本を読む場所を増やせませんか。

答 特定の人の溜まり場になるおそれや飲食・喫煙の監視など、部屋の管理が困難という問題もあり、さらに検討させていただきます。

その後：1階一般資料室に椅子を24脚増やしました。読書の申し出があれば、記帳していただき、2階踊り場に案内し、できるだけ希望に添うようにしています。

問 長崎県で起きた事件に対して、町ではどのような対策をたてましたか。

答 事件のあった次の日に町内小中学校に対し、具体的な内容について、十分指導を行うよう通知しました。その後：各学校とも全校集会などを開催し、校長や指導主任から「命の尊さ、友達を大切にすること」などに、道徳教育などを通じ「ことばと心の問題」も指導してきました。

佐藤 済江 議員

問 大分県文化振興条例が16年4月にスタートしたが、町では条例制定に向け、どのように取り組んでいきますか。

答 本町は、自然に恵まれた歴史と文教の町です。合併を控え、その状況を見ながら考えています。

その後：文化振興条例制定の必要性は認識していますが、現在検討中であり、制定までには至っていません。

問 未来を担う子どもたちに本物の芸術文化に触れる機会を拡大し、文化の持つ「感動の力」で「心の豊かさ」を育む教育が求められています。その方策は何か考えていますか。

答 子どもたちに豊かな感性を育て、感動する心を培うことは必要不可欠です。町も検討します。その後：本物の芸術に触れる機会は、県事業を活用しながら、本年度は日本舞踊・華道の教室開設の準備を進めています。

民の町 の 声



地球に優しい農業を目指して

日出町ハウスミカン部会

武田 英雄 (赤松区)

連日の猛暑が続いている候、私は毎日ハウスみかんの収穫をしております。

昨今は地球温暖化の影響でしょうか、年々夏の気温が高温になっており、各地で大雨による災害等が多発しています。

農業という職業柄、特に環境問題には、気を使い、なるべく廃棄物を出さず、リサイクルして、地球に優しい農業を目指しています。

日出町のハウスみかんについては、農業関係者以外、まだまだ知名度が低いので、地元の特産物として消費者の

皆様へ、消費宣伝の取り組みを行いたいと思っております。町議会議員の皆様方には、リーダーシップを持って日出町農業発展のため、ご尽力いただくようお願い申し上げます。



次の方が選任・任命されました。

町監査委員



小石 清美 氏(65)
(北大神)

町吏員懲戒審査
委員会委員



阿部 長夫 氏(58)
(平原)

編集後記

8月24日、鹿児島県高尾野町議会の議会広報委員会が視察研修に訪れる。議会だより編集委員となり、これまで13号の作成に携わってきましたが、果たして読んでいただいている町民の方々に、外部から研修を受け入れることができる議会広報誌として認知されているのかと振り返れば僭越。少しでも興味を持って「議会だより」を手にとってもらえるよう、今後もわかりやすい、見やすい広報をめざし、また、定型を崩すことは困難ではありますが、型に挿りられない新しいことにも挑戦していきたいと考えています。(M・A)

編集委員長 後藤 佑
副委員長 森 昭人
委員 佐藤 済江
委員 上野 公則
委員 笠置 久夫
委員 城 美津夫